

動を体験し、心身をリフレッシュすることを目的に実施（主に休養体験を目的とした事業）

- ・ この施設の特徴に合うものだったから（宿泊施設、健康運動指導士、管理栄養士）
- ・ 元大学教授監修のもと建てられた温泉利用型健康増進施設。コンセプトは「あらゆる人の健康・体力づくり」ができる施設であり、子供から高齢者まで利用している。周辺の自然豊かな地理に恵まれていることもあり、日本ウォーキング協会にも加盟し、ウォーキングコースを設定。宿泊者が体調や興味に合わせて体を動かせるようにプログラムを用意している。
- ・ 交流人口の拡大、来訪者への健康づくり機会の創出、心身の健康を獲得することを目的に実施
- ・ 島の観光振興を検討しているメンバーの中にアレルギー児の父親がおり、旅行や外食にハードルをもつ家族がいること、その不安要素を取り除くことで旅行のきっかけにつながることを、**“島”**として事業所連携、ホテル、病院、協会などが連携出来る地域ということも要因となり、日本で唯一の取り組みがスタートした。

## (2) 滞在プログラム等の評価・課題・将来性等

- ・ 当初、旅行商品として造成した時にはまだニーズに促してなかったが、今後、展開していく上では、非常に期待できると確信している。ただし、専門家を活用する方向ですすめていけばマッチングできるかも。
- ・ 医学的根拠がうすい。
- ・ 旅行会社と提携していた時期もあるが衰退。高齢化が進み、旅行客のニーズに合わなくなり衰退。将来性はニーズをみきわめて対応が必要。保養地という中で50年近くつちかかってきた歴史があるが、旅館、病院、クアハウス等が三位一体となってすすめていかないとプログラムとして機能していかないと思う。
- ・ ガン予防や、再発予防のためのプログラムは、糖尿病、リウマチ、うつ病等にも共通性があり、これからの社会的ニーズにマッチしてくると思う。
- ・ 導入当初はマスコミ・メディア等の取材も多く、若い女性を中心に効果をえたが、首都圏から遠いということ、地元密着型でなかったこと、指導者の高齢化・技量等もあり、現在はプログラム自体は存続しているものの利用者は減少している状況である。
- ・ ○メニューが自由に選べて使いやすい。△保険給付システムなので申請が複雑。△申請者は少しずつ増加している（3年）、今後新規顧客の獲得に結びつけたい。
- ・ 休養体験を主にしているため、参加者の年齢層が高く、実施メニュー等が高齢者向にしないと参加者が集まらない。
- ・ このプランの利用者は1名のみだった。スタッフの人数が少ないことと、マンツーマン指導であることで、料金が割高になってしまう。→1回の利用者が多ければいいかもしれない。
- ・ 「里山あるき」の参加者は近隣町村の方が多く宿泊型が少ない。イベント性の高い催しであるが、プログラムの効果を情報提供できるようになれば、新規開拓や継続利用者の増加につながるのではないか。
- ・ 滞在プログラムメニューの増加、今後、生活改善が必要な者をターゲットにより専門

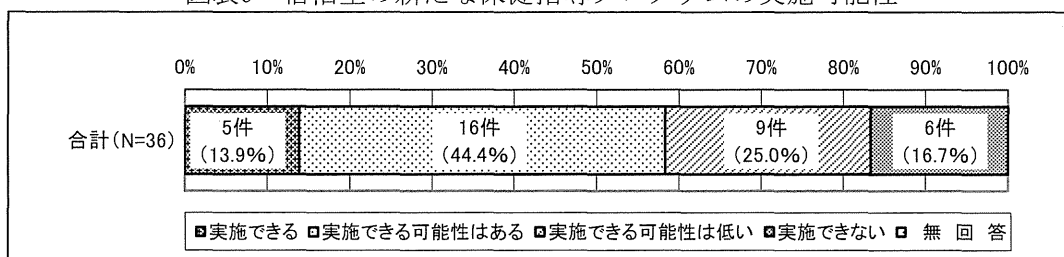
的な視点からのアプローチが必要

- ・ 旅行受入から6年経過、日々欠くことの出来ない食の提供を行うことにより、安心感が得られたお客様から感謝を伝えられることも多く、料理を作るシェフや窓口担当者のモチベーションUPにつながっている。

### 2.1.5 宿泊型の新たな保健指導プログラムの実施可能性

宿泊型の新たな保健指導プログラムの実施可能性を見ると、「実施できる可能性はある」が16件と最も多く、次いで「実施できる可能性は低い」が9件であった。

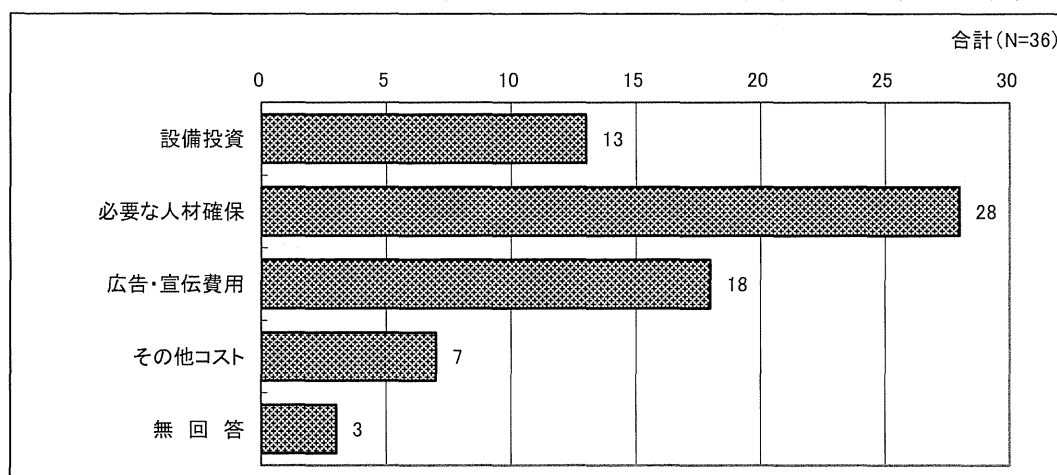
図表9 宿泊型の新たな保健指導プログラムの実施可能性



### 2.1.6 宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施した場合の課題：コスト面（複数回答）

宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施した場合の課題（コスト面）を見ると、「必要な人材確保」が28件と最も多く、次いで「広告・宣伝費用」が18件であった。

図表10 宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施した場合の課題（コスト面）



### 2.1.7 宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施する際の条件：コスト面（自由記述）

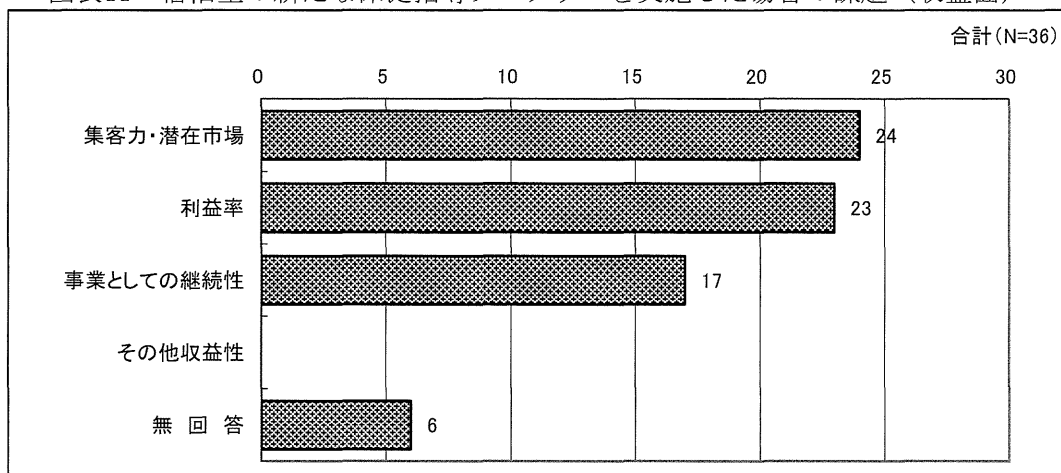
宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施する際のコスト面の条件として、以下の意見が挙げられた。

- ・ 国や自治体からの助成・補助、人的協力があれば実施可能。医療関係との連携。
- ・ 厚労省から健康増進施設の認定を受けているので、指導員を増やせば実施可能。
- ・ 現状で、他のプロジェクトに人をさけないため、補充が必要
- ・ ①国や自治体からの助成・補助、人的協力があれば実施可能。②遊歩道整備、トイレ整備、インストラクター養成講座の開催。
- ・ 国や自治体からの設備投資 ・指導者の新陳代謝が必要
- ・ ニーズがあれば相手先とのマッチング機会の提供

### 2.1.8 宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施した場合の課題：収益面（複数回答）

宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施した場合の課題（収益面）を見ると、「集客力・潜在市場」が24件と最も多く、次いで「利益率」が23件であった。

図表11 宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施した場合の課題（収益面）



### 2.1.9 宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施する際の条件：収益面（自由記述）

宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施する際の収益面の条件について、以下の意見が挙げられた。

- ・ 制度化されることで一定の売上が見込めるのであれば実施を検討する。健保組合等との連携ができれば可能。
- ・ 通常宿泊料金よりも高目に設定できれば検討する。
- ・ 制度化されることで一定の売上が見込めるのであれば実施を検討する。
- ・ 人件費以上の利益があがれば、検討する。
- ・ ①制度化されることで一定の売上が見込めるのであれば実施を検討する。②個人のニーズ客にプログラムの価値が伝えられるネットワーク作りの構築。
- ・ 制度化されることで一定の売上が見込めるのであれば実施を検討する。
- ・ 経費がかかる割合に収益力が少ない。通常営業のさまたげになるケースもままあり、共存させるには問題も多い。
- ・ 医療機関・自治体・健保組合などが係わるものにならないと、継続事業としておこな

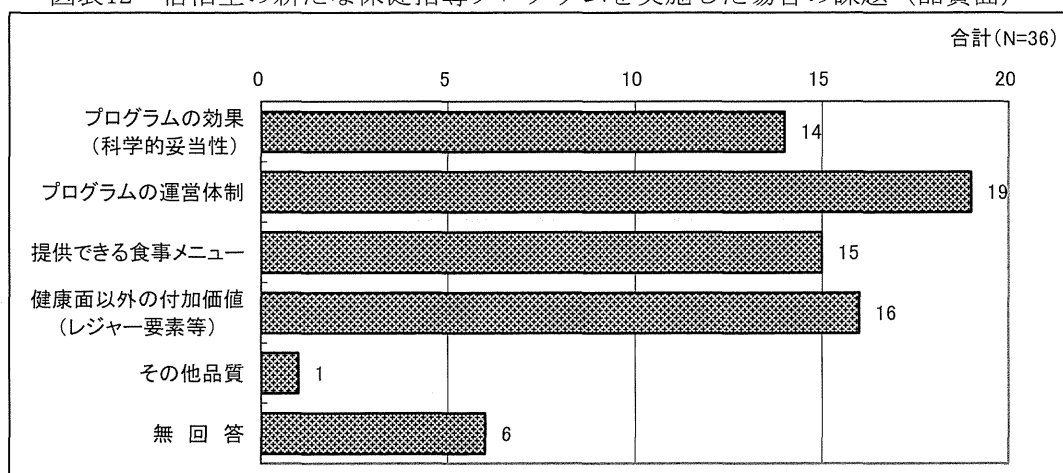
うのは難しい。個別面談など不定期対応は人員配置上、困難な為、定期的にグループ単位で対応するのならば実施可能。

- ・ フィールドとして提供できるが、どのくらいの需要があるのか不透明な部分もあり、見込めれば実施しやすい
- ・ 制度化されることで一定の売上が見込め、国からの補助があれば
- ・ フィールドとして提供できるが、どのくらいの需要があるのか不透明な部分もあり、見込めれば実施しやすい
- ・ ピーク期以外での集客を伸ばせるか

#### 2.1.10 宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施した場合の課題：品質面（複数回答）

宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施した場合の課題（品質面）を見ると、「プログラムの運営体制」が19件と最も多く、次いで「健康面以外の付加価値（レジャー要素等）」が16件であった。

図表12 宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施した場合の課題（品質面）



#### 2.1.11 宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施する際の条件：品質面（自由記述）

宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施する際の品質面の条件について、以下の意見が挙げられた。

- ・ 医療関係からの協力と連携があれば可能。
- ・ 近隣に目立った観光場所がなく満足いただけるか不安。
- ・ 近隣に参加者に満足いただけるような観光スポットがない。
- ・ 市との協力が不可欠。
- ・ 医師によるメディカルチェック機能の強化
- ・ 運動・リラクゼーション以外の分野の機関の協力を得られれば、実施を検討したい。
- ・ 当館ではある程度の実績もノウハウもあるので、特に課題はみあたらない。
- ・ 滞在型を一過性のものでおわらせないものにするには、プログラムの効果を示し説得力のあるものにしなければならない。継続利用実施には不可欠な部分なので、ここを

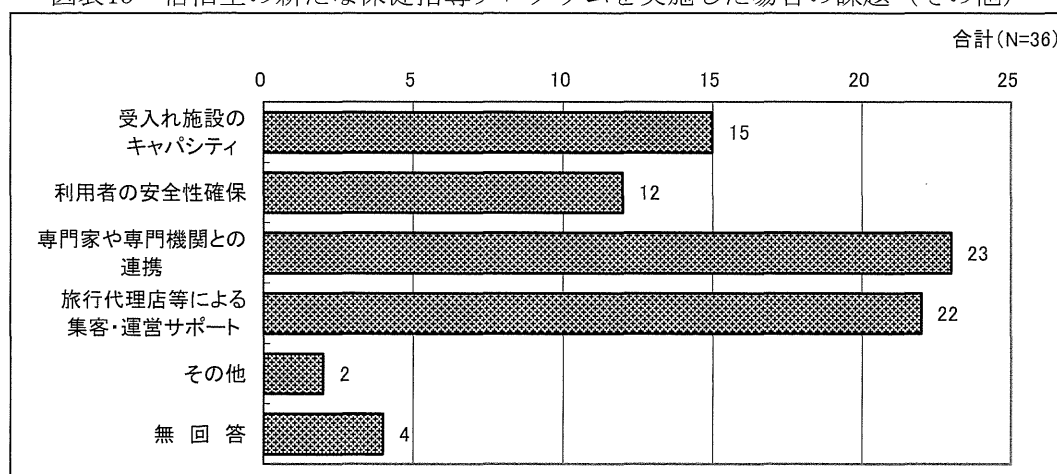
しっかりおさえることが重要。情報をもらえるのであれば実施可能。

- ・ 他自治体での実績か専門家のサポートがあれば検討する
- ・ 実施後の評価について
- ・ 食事メニューのアドバイス

### 2.1.12 宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施した場合の課題：その他（複数回答）

宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施した場合の課題（その他）を見ると、「専門家や専門機関との連携」が23件と最も多く、次いで「旅行代理店等による集客・運営サポート」が22件であった。

図表13 宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施した場合の課題（その他）



### 2.1.13 宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施する際の条件：その他（自由記述）

宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施する際のその他の条件について、以下の意見が挙げられた。

- ・ 適切な専門機関と連携できれば実施可能。
- ・ 現在病院で行うDM教育入院の運動を担当しており、大学の医師とも連携をとってプログラムは進行中。宿泊等の条件がそろえば、すぐにでもはじめられます。
- ・ 空き家対策、耕作放棄地対策も兼ねた食育の仕組みも育てる健康ゾーン特区指定。
- ・ 近隣宿泊施設や適切な専門機関と連携できれば、可能性はあるかもしれない。
- ・ 温泉療法医も高齢の為、現在のように処方によって医療費控除も受けられる等という難しいとなかなか利用者も増えない。税務的なものとのからみもあるが善処できると好ましい。
- ・ 滞在型にすることで、意識や検査値に変化があったのか情報をフィードバックしてほしい。プログラムを実施するにあたり、内容を修正しながら効果のある方法で提供していきたいので、専門機関と連携し、参加者に有意義なものを提供していく。集客の見込めるものであれば継続実施可能。
- ・ 保健指導を担ってくれる専門機関との連携ができれば実施可能である。

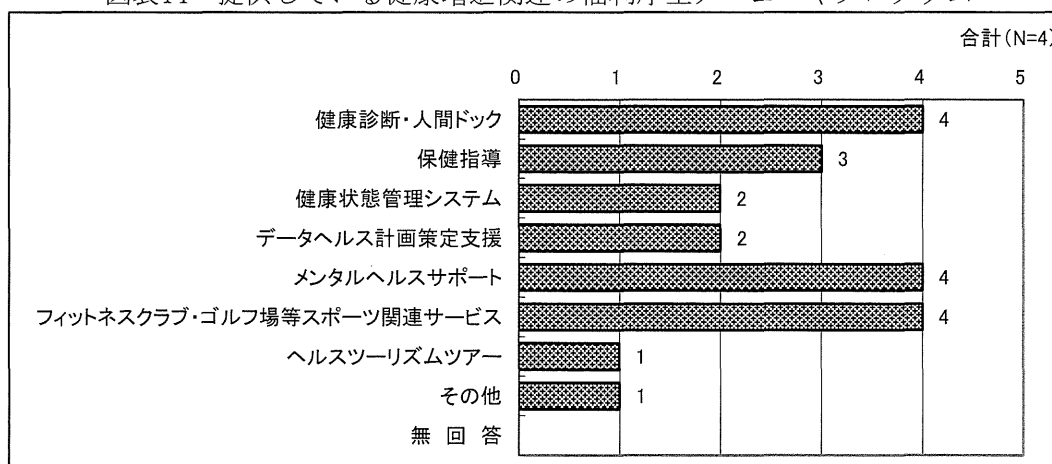
- ・ 適切な専門機関と連携でき、現地を見ていただき、助言・サポートをしていただきたい。季節限定でもいいか。(例) 7月、8月、9月以外でもいいか。
- ・ 保健指導を担ってくれる専門機関との連携ができれば実施可能である。
- ・ 夏に集中する(一般客も)ので現場担当者の体力的・精神的負担の集中が課題

## 2.2 福利厚生アウトソーシング法人向け郵送アンケート集計結果

### 2.2.1 提供している健康増進関連の福利厚生メニューやプログラムについて（複数回答）

提供している健康増進関連の福利厚生メニューやプログラムを見ると、「健康診断・人間ドック」「メンタルヘルスサポート」「フィットネスクラブ・ゴルフ場等スポーツ関連サービス」がそれぞれ4件と最も多く、次いで「保健指導」が3件であった。

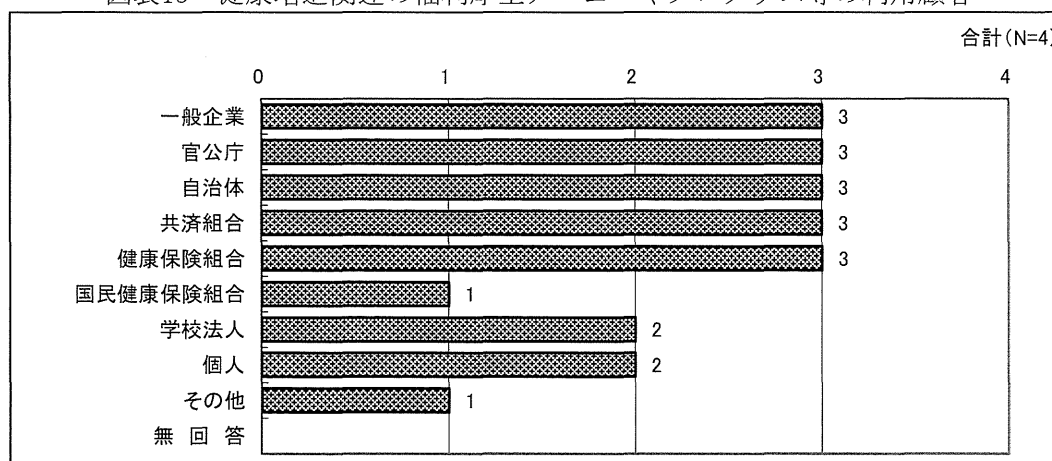
図表14 提供している健康増進関連の福利厚生メニューやプログラム



### 2.2.2 利用顧客（複数回答）

健康増進関連の福利厚生メニューやプログラム等の利用顧客を見ると、「一般企業」「官公庁」「自治体」「共済組合」「健康保険組合」がそれぞれ3件と最も多く、次いで「学校法人」「個人」がそれぞれ2件であった。

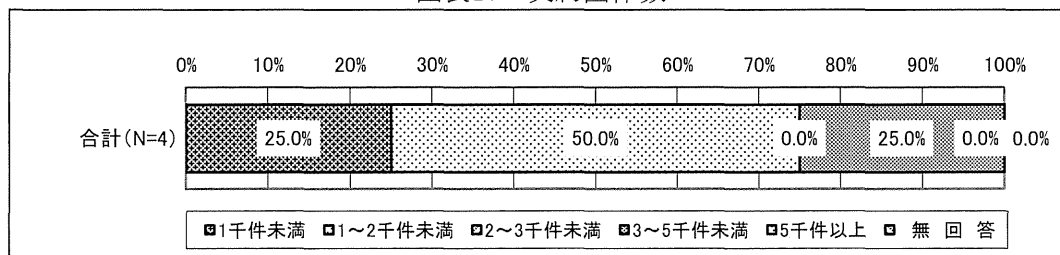
図表15 健康増進関連の福利厚生メニューやプログラム等の利用顧客



### 2.2.3 契約団体数

契約団体数を見ると、「1000～2000 件未満」が 50.0%と最も多く、次いで「1000 件未満」「3000～5000 件未満」がそれぞれ 25.0%であった。

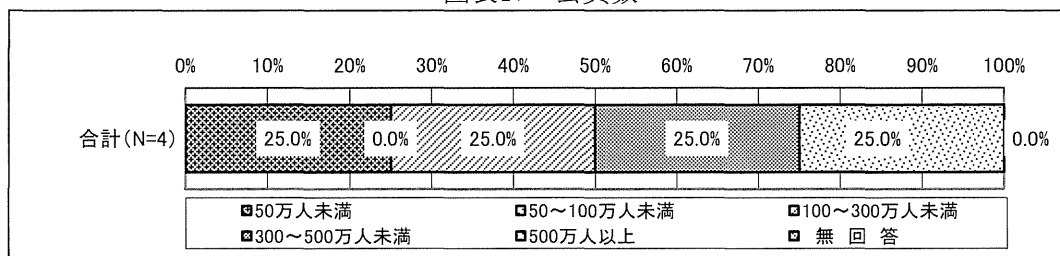
図表16 契約団体数



### 2.2.4 会員数

会員数を見ると、「50 万人未満」「100～300 万人未満」「300～500 万人未満」がそれぞれ 25.0%であった。

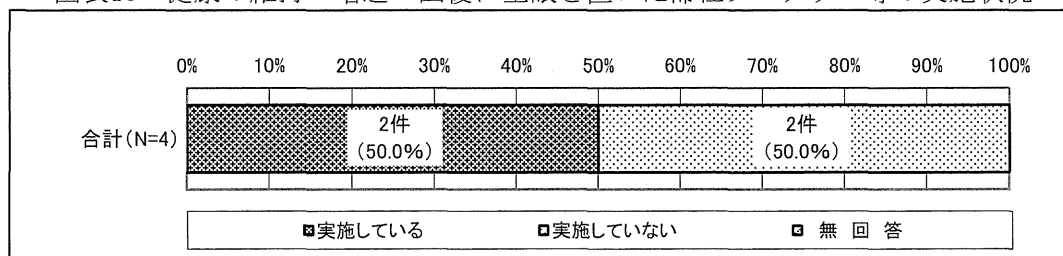
図表17 会員数



### 2.2.5 健康の維持・増進・回復に主眼を置いた滞在プログラム等の実施状況

健康の維持・増進・回復に主眼を置いた滞在プログラム等の実施状況を見ると、「実施している」と「実施していない」がそれぞれ 2 件であった。

図表18 健康の維持・増進・回復に主眼を置いた滞在プログラム等の実施状況





## 2.2.6 健康の維持・増進・回復に主眼を置いた滞在プログラム等の内容について

### (1) 滞在プログラム等の名称について（自由記述）

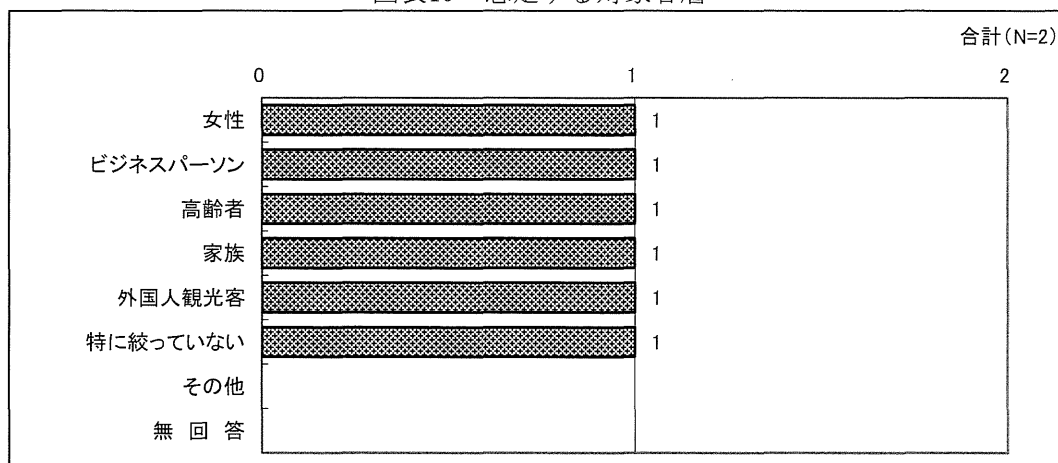
健康の維持・増進・回復に主眼を置いた滞在プログラム等を実施している場合、滞在プログラム等の名称は以下のとおりであった。

- ・ スマート・ライフ・ステイ・プログラム
- ・ 秋の海岸ウォーキング宿泊プラン

### (2) 想定する対象者層（複数回答）

想定する対象者層を見ると、いずれの選択肢も1件であった。

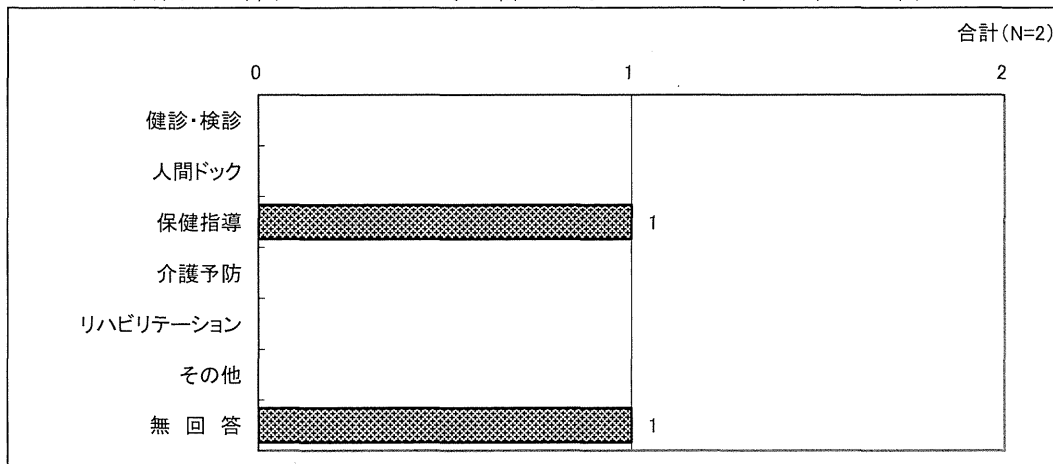
図表19 想定する対象者層



(3) 滞在プログラム等に含まれるメニューについて：メディカル系（複数回答）

滞在プログラム等に含まれるメニュー（メディカル系）を見ると、「保健指導」が1件であった。

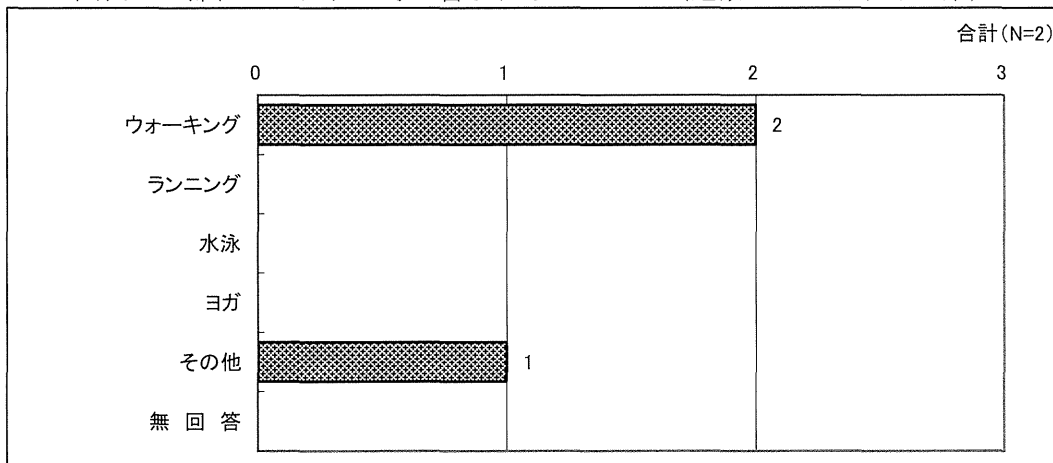
図表20 滞在プログラム等に含まれるメニュー（メディカル系）



(4) 滞在プログラム等に含まれるメニューについて：運動・エクササイズ系（複数回答）

滞在プログラム等に含まれるメニュー（運動・エクササイズ系）を見ると、「ウォーキング」が2件と最も多く、次いで「その他」が1件であった。その他の意見として、「ストレッチ、筋力トレーニング等」が挙げられた。

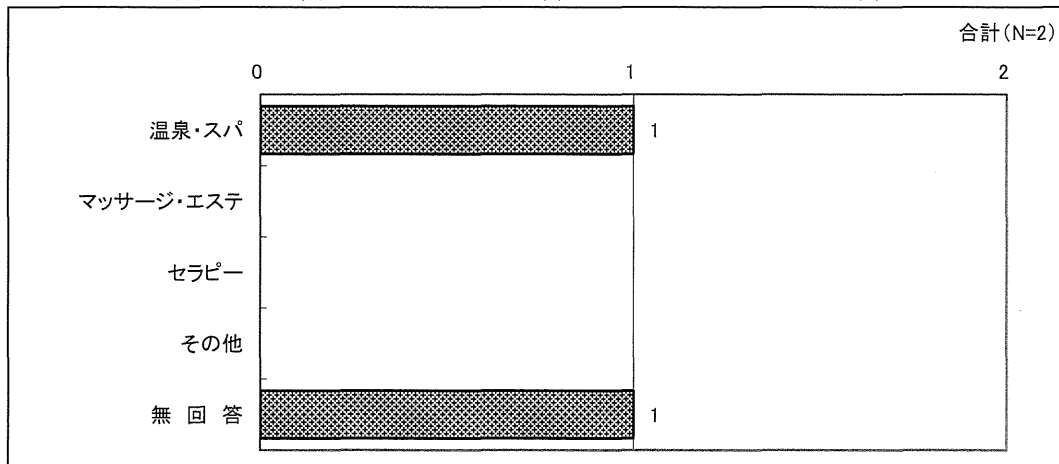
図表21 滞在プログラム等に含まれるメニュー（運動・エクササイズ系）



(5) 滞在プログラム等に含まれるメニューについて：癒し系（複数回答）

滞在プログラム等に含まれるメニュー（癒し系）を見ると、「温泉・スパ」が1件であった。

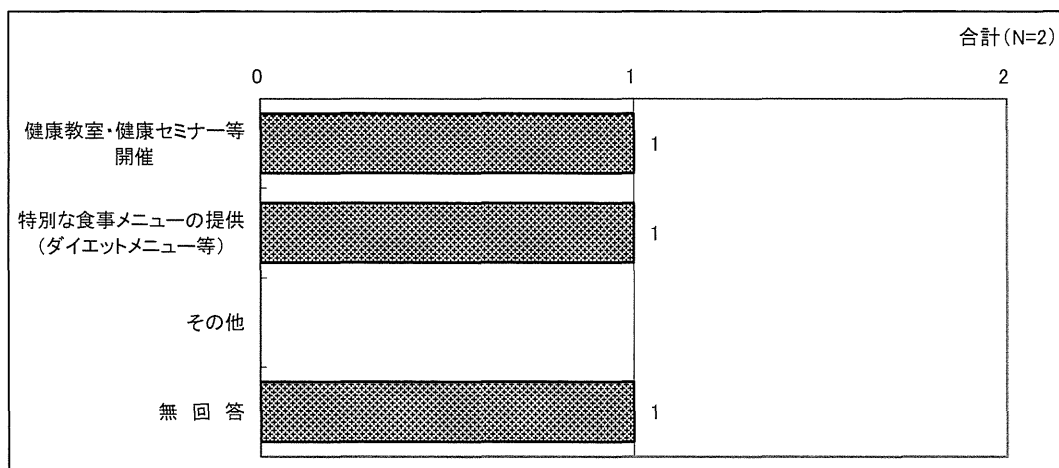
図表22 滞在プログラム等に含まれるメニュー（癒し系）



(6) 滞在プログラム等に含まれるメニューについて：食事系・その他（複数回答）

滞在プログラム等に含まれるメニュー（その他）を見ると、「健康教室・健康セミナー等開催」と「特別な食事メニューの提供（ダイエットメニュー等）」がそれぞれ1件であった。

図表23 滞在プログラム等に含まれるメニュー（食事系・その他）



(7) 宿泊プラン等の企画や実施にあたって関与している専門家と内容（複数回答）

宿泊プラン等の企画や実施にあたって関与している専門家と内容との関係は以下のとおりであった。

図表24 宿泊プラン等の企画や実施にあたって関与している内容

	件数	健診・検診	人間ドック	保健指導	介護予防	リハビリテーション	その他 メディカル系；そ	ウォーキング	ランニング	水泳	ヨガ	運動・エクササイズ	温泉・スパ	マッサージ・エステ	セラピー	癒し系；その他	健康教室・健康セミナー等開催	特別な食生活メニュー提供	食事系・その他；	無回答
医師	2 100.0%	-	-	50.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0%	-	50.0%	
保健師・看護師	2 100.0%	-	-	50.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0%	-	50.0%	
管理栄養士	2 100.0%	-	-	50.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0%	50.0%	50.0%	
歯科衛生士	2 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0%	
健康運動指導士	2 100.0%	-	-	50.0%	-	-	-	50.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0%	-	50.0%	
その他	2 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0%	

2.2.7 滞在プログラム等を実施した経緯と、評価や課題、将来性等について（自由記述）

滞在プログラム等を実施した経緯と、評価や課題、将来性等に関する意見は以下のとおりであった。

(1) 滞在プログラム等を実施した経緯

- ・ 平成26年度健康寿命延伸産業創出推進事業として。
- ・ 会員向けの福利厚生サービスの一環としてサービスを採用している

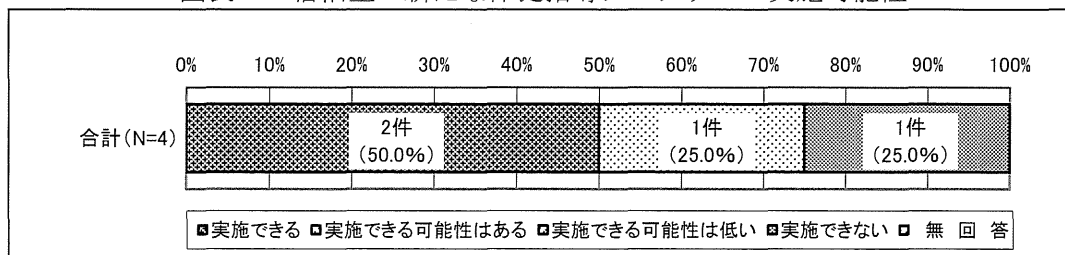
(2) 滞在プログラム等の評価・課題・将来性等

- ・ 一定の需要は見込める。課題として、質の維持・向上、価格設定、集客方法があげられる。
- ・ 将来的には宿泊コンテンツが入っても違和感ない

### 2.2.8 宿泊型の新たな保健指導プログラムの実施可能性

宿泊型の新たな保健指導プログラムの実施可能性を見ると、「実施できる」が2件と最も多く、次いで「実施できる可能性はある」と「実施できない」がそれぞれ1件であった。

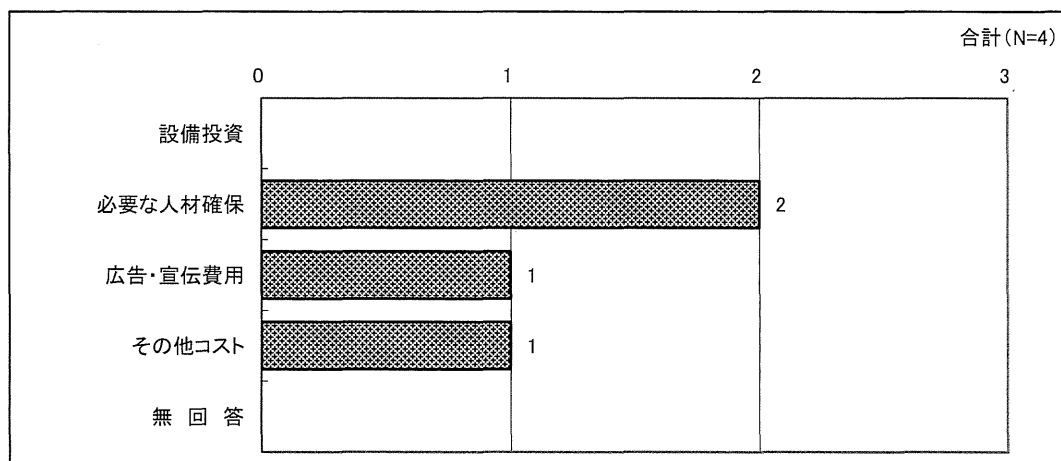
図表25 宿泊型の新たな保健指導プログラムの実施可能性



### 2.2.9 宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施した場合の課題：コスト面（複数回答）

宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施した場合の課題（コスト面）を見ると、「必要な人材確保」が2件と最も多く、次いで「広告・宣伝費用」と「その他」がそれぞれ1件であった。

図表26 宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施した場合の課題（コスト面）



### 2.2.10 宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施する際の条件：コスト面（自由記述）

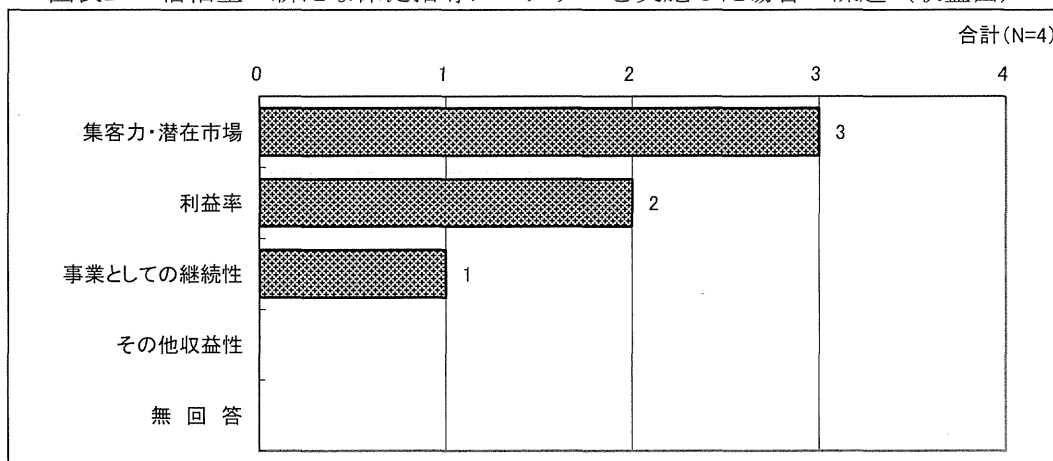
宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施する際のコスト面の条件として、以下の意見が挙げられた。

- 顧客がコストを負担できるかが課題。企業、健保、国などの補助制度があれば有効。

### 2.2.11 宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施した場合の課題：収益面（複数回答）

宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施した場合の課題（収益面）を見ると、「集客力・潜在市場」が3件と最も多く、次いで「利益率」が2件であった。

図表27 宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施した場合の課題（収益面）



### 2.2.12 宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施する際の条件：収益面（自由記述）

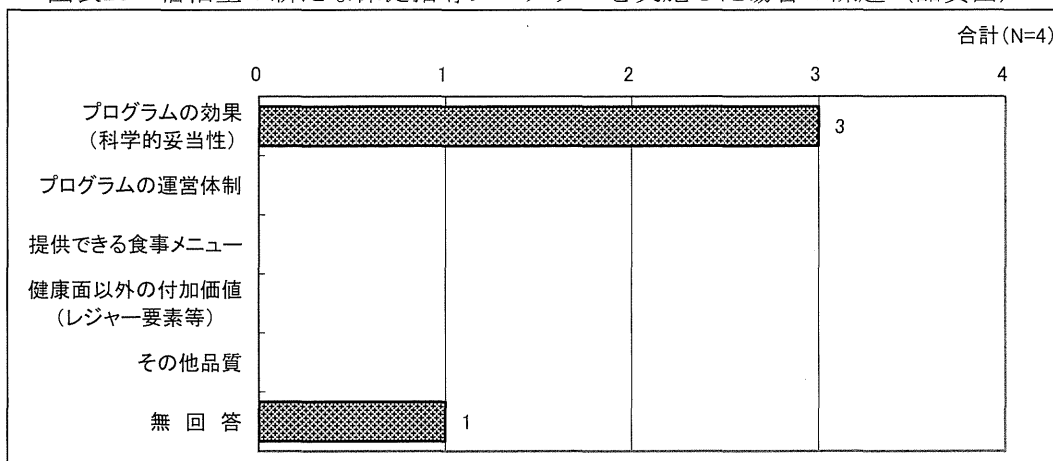
宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施する際の収益面の条件について、以下の意見が挙げられた。

- ・ 制度化されれば有効。

### 2.2.13 宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施した場合の課題：品質面（複数回答）

宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施した場合の課題（品質面）を見ると、「プログラムの効果（科学的妥当性）」が3件であった。

図表28 宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施した場合の課題（品質面）



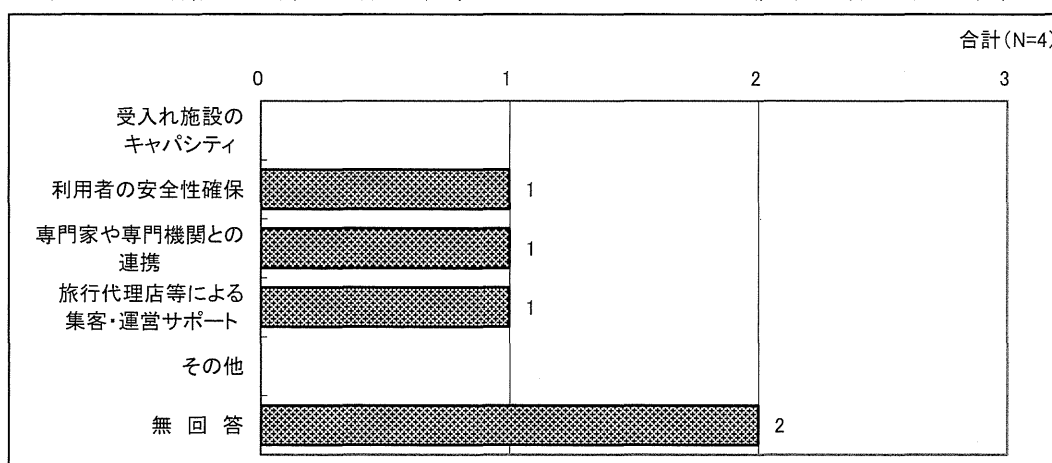
### 2.2.14 宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施する際の条件：品質面（自由記述）

宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施する際の品質面の条件についての意見はなかった。

### 2.2.15 宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施した場合の課題：その他（複数回答）

宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施した場合の課題（その他）を見ると、「利用者の安全性確保」「専門家や専門機関との連携」「旅行代理店等による集客・運営サポート」がそれぞれ1件であった。

図表29 宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施した場合の課題（その他）



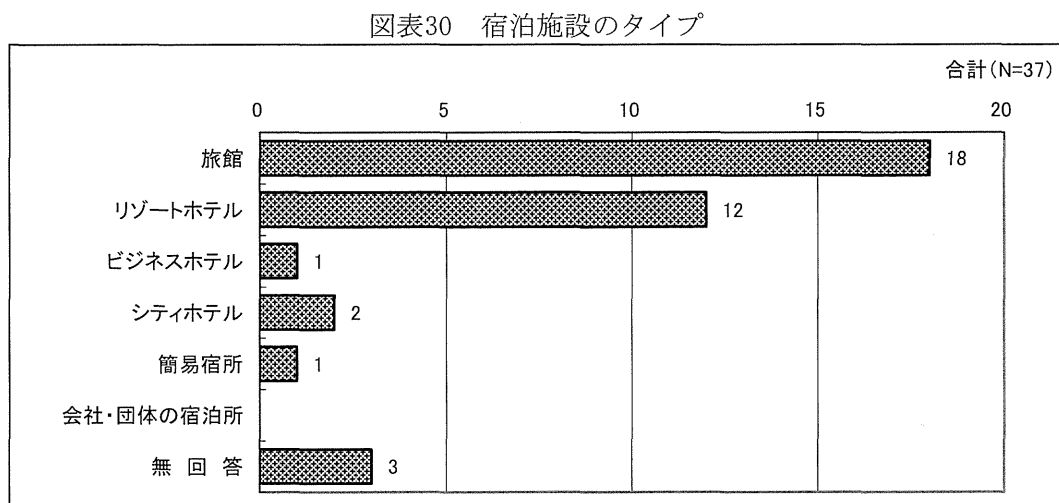
### 2.2.16 宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施する際の条件：その他（自由記述）

宿泊型の新たな保健指導プログラムを実施する際のその他の条件についての意見はなかった。

## 2.3 ホテル・旅館業向け郵送アンケート集計結果

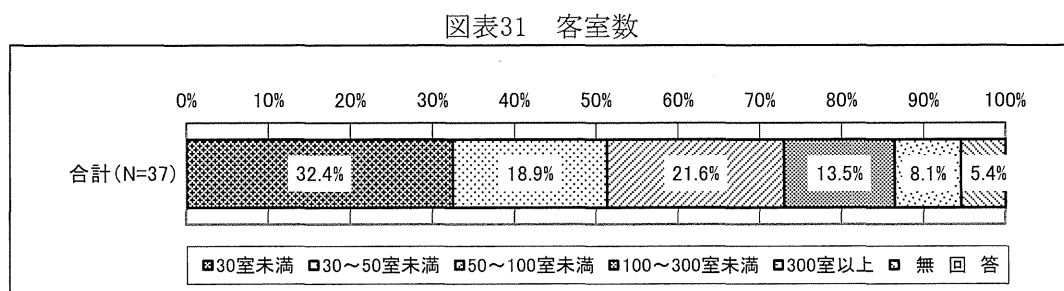
### 2.3.1 宿泊施設のタイプ

宿泊施設のタイプを見ると、「旅館」が18件と最も多く、次いで「リゾートホテル」が12件であった。



### 2.3.2 客室数

客室数を見ると、「30室未満」が32.4%と最も多く、次いで「50～100室未満」が21.6%であった。

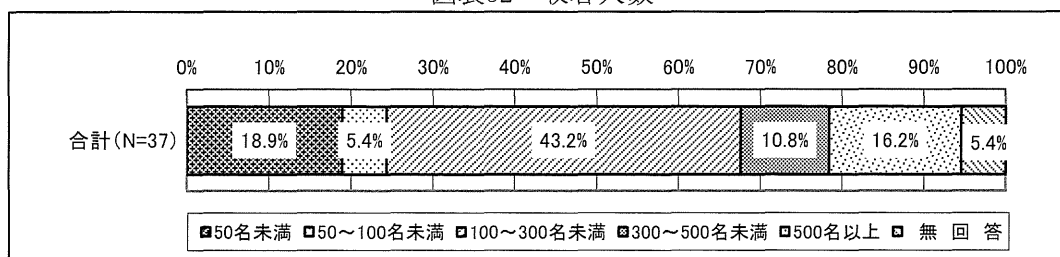




### 2.3.3 収容人数

収容人数を見ると、「100～300名未満」が43.2%と最も多く、次いで「50名未満」が18.9%であった。

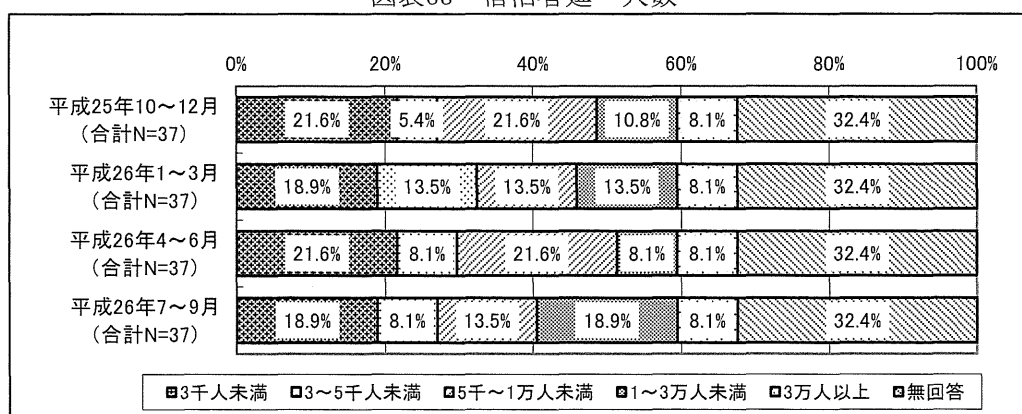
図表32 収容人数



### 2.3.4 宿泊者延べ人数

宿泊者延べ人数を見ると、平成25年10月から12月期と平成26年4月から6月期においては「3000人未満」と「5000人～10000人未満」がそれぞれ21.6%と最も多くなった。平成26年1月から3月期においては、「3000人未満」が18.9%と最も多く、次いで「3000人～5000人未満」と「5000人～10000人未満」、「10000人～30000人未満」がそれぞれ13.5%であった。平成26年7月から9月期においては、「3000人未満」と「10000人～30000人未満」がそれぞれ18.9%と最も多く、次いで「5000人～10000人未満」が13.5%であった。

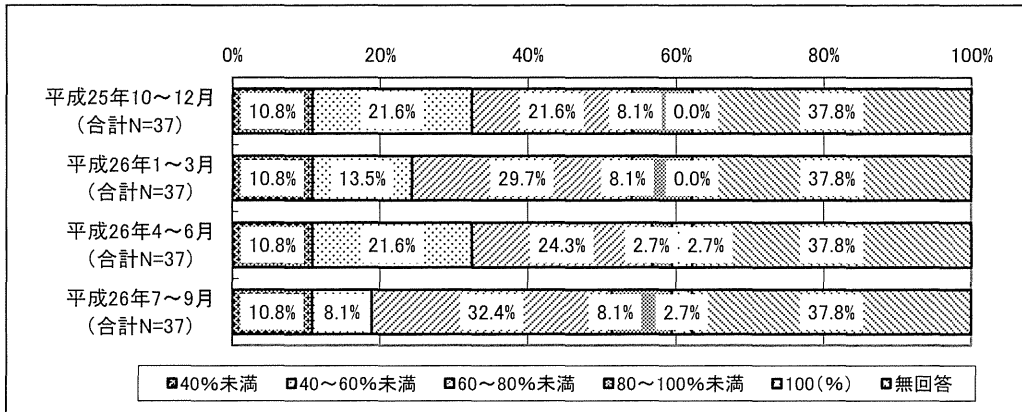
図表33 宿泊者延べ人数



### 2.3.5 客室稼働率

客室稼働率を見ると、平成25年10月から12月期においては「40～60%未満」と「60～80%未満」がそれぞれ21.6%と最も多くなった。平成26年1月から3月期においては「60～80%未満」が29.7%と最も多く、次いで「40～60%未満」が13.5%であった。平成26年4月から6月期においては「60～80%未満」が24.3%と最も多く、次いで「40～60%未満」が21.6%であった。平成26年7月から9月期においては、「60～80%未満」が32.4%と最も多く、次いで「40%未満」が10.8%であった。

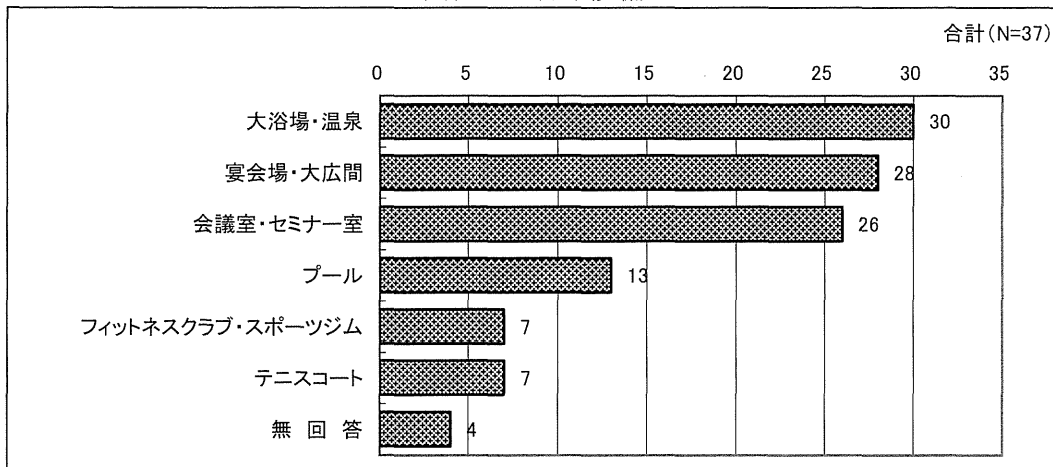
図表34 客室稼働率



### 2.3.6 付帯設備（複数回答）

付帯設備のタイプを見ると、「大浴場・温泉」が30件と最も多く、次いで「宴会場・大広間」が28件、「会議室・セミナー室」が26件であった。

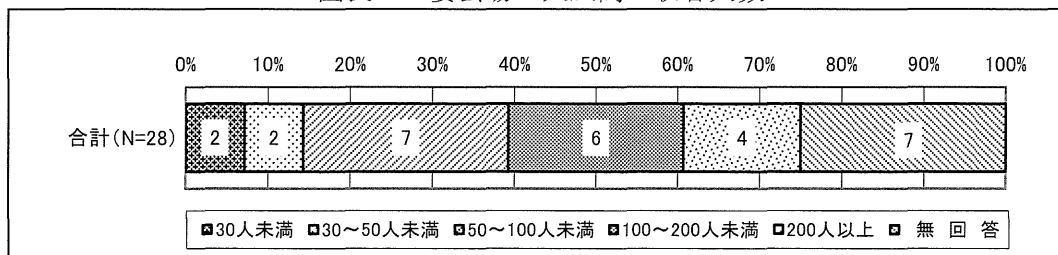
図表35 付帯設備



(1) 付帯設備：宴会場・大広間の収容人数

付帯設備のうち宴会場・大広間の収容人数を見ると、「50～100人未満」が7件と最も多く、次いで「100～200人未満」が6件であった。

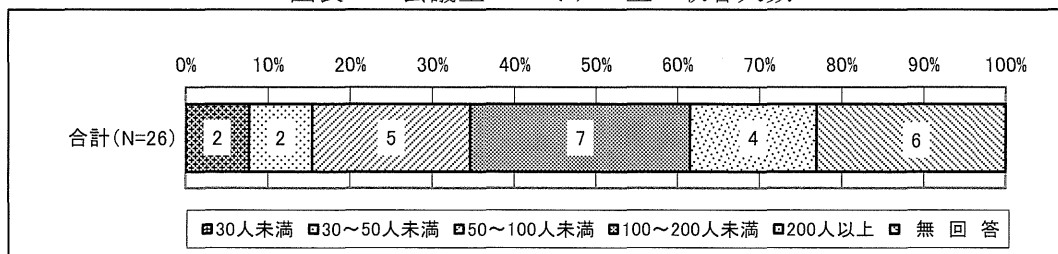
図表36 宴会場・大広間の収容人数



(2) 付帯設備：会議室・セミナー室の収容人数

付帯設備のうち会議室・セミナー室の収容人数を見ると、「100～200人未満」が7件と最も多く、次いで「50～100人未満」が5件であった。

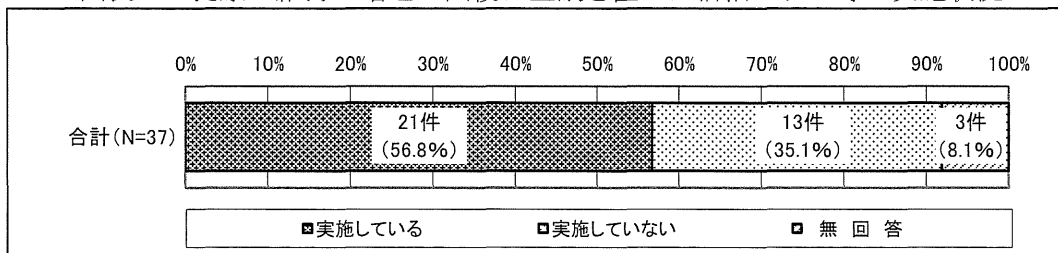
図表37 会議室・セミナー室の収容人数



2.3.7 健康の維持・増進・回復に主眼を置いた宿泊プラン等の実施状況

健康の維持・増進・回復に主眼を置いた宿泊プラン等の実施状況を見ると、「実施している」が21件、「実施していない」が13件であった。

図表38 健康の維持・増進・回復に主眼を置いた宿泊プラン等の実施状況



## 2.3.8 健康の維持・増進・回復に主眼を置いた宿泊プラン等の内容について

### (1) 宿泊プラン等の名称について（自由記述）

健康の維持・増進・回復に主眼を置いた宿泊プラン等を実施している場合、宿泊プラン等の名称は以下のとおりであった。

- ・ 健康モニターツアー
- ・ ホリスティック医療的なメディカルチェックコース、ファスティングコース e t c
- ・ 森林セラピー体験
- ・ 通常プログラム
- ・ 一週間プラン、週末体験プラン
- ・ 温泉療養プラン連泊
- ・ 「医食同源」中国料理、5月6月美味しく食べて高血圧、動脈硬化予防メニュープラン
- ・ 健康いきいき診断プログラム特別宿泊プラン
- ・ 健康リフレッシュセミナー（1泊2日）
- ・ 人間ドック＋ゴルフ、エクササイズ（1泊2日）
- ・ 健康教室（1泊2日、2泊3日）
- ・ じっくり心身を回復させる2泊3日プラン
- ・ デトックスダイエットプラン、断食、エステプラン他
- ・ プラスウォーキングプラン、ウォーキングイベント
- ・ かかりつけ湯プラン
- ・ エステ付プラン
- ・ 塩分控え目、海鮮料理中心
- ・ Aromatherapy OIL Massage を堪能するプラン
- ・ 市民病院との人間ドックとからめた宿泊 ・ウォーキングプラン
- ・ 湯治かかりつけ湯プラン
- ・ “かかりつけ湯”プラン
- ・ <1日2室限定>[PETがん検診・食事なし]メディカルプラン
- ・ 各アロマエステ付プラン